

富士市立中央病院内科専門医研修プログラム (富士市立中央病院)

1 はじめに

本プログラムの特徴は、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿・内分泌内科、血液内科、神経内科の指導体制が整い、リウマチ・膠原病内科領域においても大学在籍の指導医からの指導・協力が得られる体制になっていることです。現在内科領域だけで8名の後期研修医が勤務しており、豊富な経験を有する指導医のもと日々研鑽に励んでいます。

当院は医学・医療における教育を大切な柱の一つにしており、複数の医科大学、看護専門学校、その他医療系大学の実習も受け入れています。地域から信頼され、教育的風土が醸成された当院での研修は必ず先生方のキャリア形成に役立つものと確信しています。



プログラム統括責任者 富士市立中央病院 副院長 笠井 健司

2 目的

【内科専門医として広い視野と優れた見識を身につける。】

- (1) 超高齢社会を迎え、変化してゆく日本を支える内科専門医として、1) 高い倫理観を持ち、2) 最新の標準的医療を実践し、3) 安全な医療を心がけ、4) プロフェッショナルリズムに基づく患者中心の医療を提供し、臓器別専門性に著しく偏ることなく全人的な内科診療を提供すると同時に、チーム医療を円滑に運営できる研修を行います。
- (2) 本プログラムを修了し内科専門医の認定を受けた後も、内科専門医は常に自己研鑽を続け、最新の情報を学び、新しい技術を修得し、標準的な医療を安全に提供し、疾病の予防、早期発見、早期治療に努め、自らの診療能力をより高めることを通じて内科医療全体の水準をも高めて、地域住民、日本国民を生涯にわたって最善の医療を提供してサポートできる研修を行います。
- (3) 疾病の予防から治療に至る保健・医療活動を通じて地域住民の健康に積極的に貢献できる研修を行います。
- (4) 将来の医療の発展のためにリサーチマインドを持ち臨床研究、基礎研究を実際に行う契機となる研修を行います。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

富士市立中央病院

(2) 専門研修連携施設

東京慈恵会医科大学附属病院

静岡県立総合病院

国際医療福祉大学熱海病院

三島総合病院

聖隷富士病院

共立蒲原総合病院

4 専攻医受入数

1 学年 3 名

5 研修期間

3 年間

6 研修計画（例）

専攻医研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科系診療科1	内科系診療科2	内科系診療科3	内科系診療科4	内科系診療科5	内科系診療科6						
1年目	初診外来・救急外来・当直・他診療科との連携・合同カンファレンスで内科医としてのプライマリケアの素養を育む											
	富士市立中央病院での研修・JMECCを受講する											
2年目	subspeciality連動研修											
	初診外来・救急外来・当直・他診療科との連携・合同カンファレンスで内科医としてのプライマリケアの素養を育む											
	富士市立中央病院での研修											
3年目	subspeciality連動研修(選択する連携施設により、より専門性の高い研修、またはよりgeneralityの高い研修)											
	連携施設での研修											
そのほかプログラム の要件	医療倫理・医療安全・感染防御に関する講習会およびCPCへの参加											

7 問い合わせ先

担当課 病院総務課人事担当

担当者 鈴木 裕子

T E L 0545-52-1131 内線 2214

F A X 0545-51-7077

E-mail ch-soumu@div.city.fuji.shizuoka.jp